



## 【2014年度全国大会 最終のご案内】

すでにご案内したとおり、全国大会を2月28日(土)と3月1日(日)の2日間にわたり、立教大学新座キャンパスにて実施します。テーマは「オリンピック・パラリンピック教育と観光ホスピタリティ教育」です。

大会プログラムの概略と研究発表の申込方法、ワークショップテーマの申込手順については、1月にご案内したとおりです。お一人でも多くの方にご参加いただけますよう、会員外の方々にもご紹介くださいますようお願い申し上げます。

### <第14回全国大会テーマ>

「オリンピック・パラリンピック教育と  
観光ホスピタリティ教育」

1. 主催：日本観光ホスピタリティ教育学会
2. 開催日：2015年2月28日(土)、3月1日(日)
3. 会場：  
<メイン会場>  
立教大学 新座キャンパス  
〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26  
交通アクセスマップ…  
<http://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/direction/>  
キャンパスマップ…  
<http://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/campusmap/>

### 4. 日程

- <2月28日(土)>  
10:30~12:30 理事会(8号館4階 N841 教室)  
12:30 受付開始(8号館5階エレベーター前)  
13:00~13:05 開会式(8号館5階 N851 教室)

### ・開会あいさつ

13:05~14:15 研究発表・教育実践報告(N851 教室)  
1)「日本の大学におけるホテルインターンシップの実態調査」丹治朋子(川村学園女子大学)

2)「ゼミでの就職活動指導」海老澤昭郎(長崎国際大学)  
3)「ゼミナール運営に関する実践報告—社会人基礎力育成の観点から—」福本賢太(神戸夙川学院大学)

14:30~15:30 基調講演(N851 教室)

「2020年オリンピック・パラリンピックにむけての観光ホスピタリティ教育のあり方」

立教大学 名誉教授 岡本 伸之 氏

15:40~17:20 シンポジウム(N851 教室)

モデレーター：宍戸 学 氏(横浜商科大学 教授)

パネリスト：

雑賀 真 氏(東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会組織委員会 CCO・総務局長)

佐藤 博康 氏(松本大学 教授)

岡本 伸之 氏(立教大学 名誉教授)

17:30~ 学生活動報告(N851 教室)

1)「学生による海外旅行商品企画の取り組み」玉川大学  
経営学部観光経営学科4年中村ゼミ 水谷 輝、山田 久留美、佐藤 奈々

2)「日本学生観光連盟 活動紹介と次世代への情報発信の取り組みについて」立教大学観光学部交流文化学科3年、日本学生観光連盟 前代表 大川 周良

18:15~ 懇親会(4号館 学生食堂「こかげ」)

### <3月1日(日)>

9:20 受付開始(8号館5階 エレベーター前)

9:30~ ワークショップ

9:30~10:40 ワークショップ特別講演(N851 教室)

「観光ホスピタリティ教育に生かすおもてなしの心」  
~2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて~  
江上 いずみ 氏(Global Manner Springs 代表/  
筑波大学・大学院講師)

10:50~12:20 ワークショップ分科会(8号館4階)

テーマ1「オリンピック・パラリンピック教育」

テーマ2「キャリア教育と就職活動」

テーマ3「アクティブラーニングの実践」

12:20~13:10 休憩

13:10~14:10 ワークショップ報告会

14:10~14:15 閉会式

- ※ ワークショップに参加される方は、ワークショップ特別講演からご参加ください。
- ※ プログラム内容・時間・教室等は変更する場合があります。ご了承下さい。

## 5. 大会参加費等

<大会参加費>

正会員・一般 2,000 円

準会員・学生 1,000 円

なお、2月28日(土)の基調講演、シンポジウム、学生報告に限り、【無料】で一般公開します。学会員以外のご参加については、「8. その他(1)」をご参照ください。

<2月28日(土)懇親会費>

正会員・一般：4,000 円

準会員・学生：3,000 円

<弁当代>

3月1日(日)昼食 1,000 円(弁当・飲み物)

<研究発表・教育実践報告費>

一件あたり 5,000 円

いずれも同封の出欠はがきにて事前申し込みの上、当日、受付にてお支払い下さい。なお、2月20日(金)以降のキャンセルについては、後日キャンセル料を請求させていただきます。

研究発表・教育実践報告に関して、研究発表論文集の印刷後はキャンセルできません。

## 6. 参加申込手続き

各プログラムへの参加の有無については、同封の参加申込はがきに必要事項をご記入の上、大会実行委員会事務局(川村学園女子大学 丹治朋子)まで郵送して下さい。

ワークショップについては、希望するテーマについて、第2希望までご記入ください。

**※参加申込締切 2015年2月19日(木)※**

## 7. 大会実行委員会

委員長 村上和夫(立教大学)  
委員 浅岡柚美(中村学園大学)  
金 振暁(帝京大学)  
丹治朋子(川村学園女子大学)  
永田美江子(平安女学院大学)  
野口洋平(杏林大学)  
古本泰之(杏林大学)  
峯俊智穂(四天王寺大学)

<全国大会実行委員会事務局>

川村学園女子大学観光文化学科内

日本観光ホスピタリティ教育学会全国大会事務局

丹治朋子

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸 1133

電話: 04-7183-6421 (FAX 自動切替、直通)

e-mail : taikai@jsthe.org

※ 電子メールが確実です。

## 8. その他

(1) 学会員以外のご参加について

学会の活動を広く周知し、観光ホスピタリティ教育の発展と会員拡大を目指すため、本大会では、学会員以外の皆様にもご参加いただけるよう、会員外に一部を無料、一部を有料で公開しています。

いずれも事前申込が必要です。同封のチラシ\*をご利用いただくか、学会ウェブサイトの大会ページから必要書類をダウンロードしてお申し込みいただけるよう、周囲への告知をお願い申し上げます。

<http://jsthe.org/conf/pg215.html>

※ お詫び…1月にお送りした会員外向けチラシにおきまして、シンポジウムパネリストの佐藤博康氏の表記に誤りがございました。佐藤先生ならびに関係者の皆さまにお詫び申し上げます。今回、訂正したものを同封致します(事務局)。

<一般向け無料公開>

基調講演・シンポジウム・学生報告

(なお、大会論文集は原則として配付いたしません)

<一般向け有料公開>

すべてのプログラム。(大会論文集付き)

大会参加費：一般 2,000 円/学生 1,000 円

懇親会費：一般 4,000 円/学生 3,000 円

3月1日(日)昼食 1,000 円(弁当・飲み物)

会員以外のご参加にあたっては、同封のチラシまたはウェブサイトのチラシの申込書に必要事項をご記入の上、全国大会事務局宛にメールまたはFAXにて送信してください。

(2) その他

最新プログラムに大きな変更があった場合には、学会ウェブサイト(<http://jsthe.org>)にてご報告致します。

## 【理事会報告】

<2014年度 第5回定例理事会>

日時：2015年1月10日(土) 13:00~15:00

場所：帝京平成大学中野キャンパス 12階 1128会議室

出席者：小畑会長、浅岡副会長、朝倉理事、海老沢理事、鈴木泰夫理事、館野理事、丹治理事、安島監事、高橋理事(委任状4通)

(1) 第14回全国大会企画

- 資料に基づいて総務委員長から説明がありました。
- 基調講演、シンポジウムのテーマ、登壇者について検討されました。

- ワークショップテーマとして以下の3点となりました。①オリンピック・パラリンピック教育と観光ホスピタリティ教育（高大連携接続）、②就職とキャリア教育③アクティブラーニング
- ワークショップ話題提供を60分に拡大し、オリンピック・パラリンピック教育関連のテーマとすることになりました。
- プログラムに学生報告を追加することとなりました。
- 総務委員長より、全国大会予算についての説明がありました。
- (2) 2015年度総会・講演会について
  - 会場として、川村学園女子大学目白キャンパスを候補として検討します。
  - 日程は6月の土曜日を候補とし、3月の理事会にて検討し決定します。
- (3) 編集委員会報告
  - 編集院長から資料に基づいて報告がありました。
  - 機関誌第8号の進捗状況について報告がありました。
  - 第9号の計画について報告がありました。
  - CiNiiへの対応について引き続き検討し、次回総会までに提案することになりました。
- (4) 広報委員会報告
  - 次回理事会で検討することになりました。
- (5) 総務委員会報告
  - 11月末に会報(全国大会第一報)を発行しました。
  - 学会ウェブサイトの移行手続きについて、総務委員長から説明がありました。
- (6) 倫理委員会報告
  - 詳細は次回理事会で検討することになりました。
  - 倫理委員長よりCITIジャパン、研究者規範行動教育WEBサイトの説明資料の提出がありました。
- (7) 研究会について
  - 5月、11月理事会併催の第1回研究会のテーマ、人選について検討することとなりました。
- (8) 入退会審査
  - 正会員(藤田玲子(東海大学))の入会1件が承認されました。
  - 承認後会員数:154名(正会員141名、準会員10名、名誉会員2名、特別会員1名)。
- (9) その他
  - 総務委員長より以下の報告がありました
- ① 新事業ワーキンググループのリーダーより、研究助成を含む、新事業に関するワーキンググループについて、早急にメンバーを決定し、事業計画を立案。
- ② 大学等の教員を目指す院生・講師向けに、サービスを提供する仕組み作りの検討を開始

- 次回の理事会は、2月28日(土)10時30分から立教大学新座キャンパスN841教室にて開催。

## 【機関誌編集委員会】

### 機関誌『観光ホスピタリティ教育』第8号発行

2015年1月25日に第8号を発行いたしました。論文、教育実践報告の投稿者をはじめ、書評、全国大会・総会の報告などご執筆くださいました皆様に深く感謝申し上げます。引き続き、原稿執筆などお願いいたしました際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 機関誌『観光ホスピタリティ教育』第9号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育(英語名:Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。

第9号の原稿締切日:2015年4月30日(木)

原稿投稿先:投稿申込書1部と審査用原稿1部をPDFあるいはワードのファイルにて(PDFが望ましい)、本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。投稿申込書は本学会ホームページよりダウンロードください。

なお、投稿規定、執筆要項、審査規定が2014年11月22日付けで変更となり、第9号から電子媒体での投稿となりました。ご確認くださいませようお願いいたします。

## 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

ご協力をお願いします。

編集・発行人 野口洋平(杏林大学)

E-Mail: yohei\_noguchi@icloud.com

FAX: 042-691-8617(大学共用)

